



# しばた佳伸 県政レポート Vol.1

第345回

## 定例県議会 一般質問

2019年9月の定例県議会において、一般質問を行いました。  
質問項目は以下の通りですが、質問内容と答弁の要旨をいくつかピックアップしてご紹介します。

質問項目

- 1.認知症等の高齢者の消費者被害対策について
- 2.訪問看護師・訪問介護員安全確保・離職防止対策事業の推進について
- 3.獣害対策について
- 4.卸売市場の活性化対策について
- 5.市川周辺地域の道路・河川等の整備について
  - (1)市川左岸地域の渋滞対策について
  - (2)市川の予防的な河川対策について
- 6.特別支援学校の環境整備について



### 5 市川周辺地域の道路・河川等の整備について

#### (1)市川左岸地域の渋滞対策について(一部抜粋)

##### しばた佳伸議員の質問

姫路市街地東部においては、南北に流れる市川を跨ぐ県道白浜姫路停車場線阿保橋周辺の阿保橋東交差点、阿保橋西詰交差点、国道2号 市川橋周辺の一本松交差点、市川橋西詰交差点など、朝夕の通勤ラッシュ時に多くの交差点が渋滞しています。加えて、神屋町に姫路市文化コンベンションセンターおよび県立はりま姫路総合医療センター(仮称)の建設も予定されており、これらの交差点がさらに渋滞するのではないかと不安から、早期対策実施に向けた多くの要望が寄せられています。そこで、これら県道白浜姫路停車場線の阿保橋周辺および国道2号の市川橋周辺の渋滞対策をどのように進めていくのか、当局の所見をお伺いします。

##### 答弁者：濱県土整備部長

県道の阿保橋西詰北交差点から北側へ阿保中交差点までの約400m区間は、姫路市施行の阿保土地区画整理事業により、令和2年度完成を目前に4車線化が進められています。併せて、国道2号市川橋西詰交差点から南下しJR姫路駅南へと繋がる都市計画道路市川線と南駅前線も整備中でございます。これらによって、市街地東部から中心部へ向かう交通の円滑化が図られますとともに、阿保橋西側の交通を西詰北交差点に集めることで、交差点処理が容易となり渋滞が緩和すると考えております。県としては、市に対しまして、これら路線の早期完成を要請してまいります。なお、土地区画整理区域内道路の完了には時間を要することから、8月に県・市・警察からなる対策会議を設置し、西詰北交差点への迂回を促す看板の設置等の暫定対策を実施してまいります。また、国道2号市川橋周辺では、市川橋西詰交差点の渋滞が一本松交差点付近にまで及んでおります。現在、西詰交差点付近から西側約1kmの区間で4車線化を進めており、西詰交差点西向き流入部も片側2車線と右折レーンを設け、渋滞の緩和を図ってまいります。今後、用地買収を進め、令和2年度より順次工事に着手し、社会基盤整備プログラムの後期5カ年の早期の完成を目指してまいります。今後とも、県・市が連携し、市川周辺地域の道路整備を進め、渋滞解消に取り組んでまいります。

#### (2)市川の予防的な河川対策について(一部抜粋)

##### しばた佳伸議員の質問

姫路市を流れる市川では、河床や堤防は大きく成長した樹木や雑草が生い茂って密林状態のところが多く、流下能力の低下を懸念しています。さらに、本年2月、飾磨区阿成植木付近の水衝部の護岸で侵食が発生していると地元自治会から連絡があり、大型土嚢72個を設置することで、一時的な応急対策が実施されました。速やかな恒久対策の実施を住民の皆さんは望んでいます。今後も頻発・激甚化が予想される豪雨に対し、市川における予防的な河川対策について、どのように取り組んでいかれるのか、当局の所見をお伺いします。

##### 答弁者：濱県土整備部長

河川整備計画に基づく対策については、流下能力が不足する箇所、下流から重点的に改修を進めており、平成28年度に山陽電鉄橋梁前後約0.6kmを、29年度にJR橋梁前後約0.6kmの改修を完了させました。これにより、昨年7月の豪雨では、JR橋梁付近で約70cmの水位を低下させることができました。現在は、国道372号小川橋付近から県道西田原姫路線生野橋までの約3kmについて、築堤、河床掘削、護岸整備等を進めております。今年度末までに県道花田野里線高木橋下流側約0.8kmの河床掘削と上流左岸側約0.4kmの護岸整備を完了させます。維持管理については、ご指摘の阿成植木付近は、堤防に延長約24mの侵食が確認されたことから、侵食拡大防止のため大型土嚢で応急対策を行いました。年度内にコンクリートブロックによる堤防補強の恒久対策を完了させる予定でございます。また、河川内に繁茂した樹木につきましては、流下能力を確保するため、国の3か年緊急対策を活用して、国道2号バイパスからJR香呂駅付近までの約15kmの伐採を年度内に完了させます。今後とも、河川整備計画に基づく対策を着実に推進しますとともに、地域のニーズ等を的確に捉えて必要な対策を行い、流域全体の安全性の向上に取り組んでまいります。



### 令和2年度当初予算編成に対する重要政策提言

県議会公明党・県民会議は、9月3日、県庁内で「令和2年度当初予算編成に対する重要政策提言」を井戸知事に申し入れました。



提言書では、「令和という新しい時代を切り開いていくスタートの年に当たり、ゴールドスポーツイヤーズや大阪・関西万博といったビッグイベントが続く状況を最大限活かしつつ、地域創生戦略見直しにおいては既成概念にとらわれず、新たな発想と視点で斬新かつ効果的な事業の再構築を図れるよう取り組んでいただきたい」と指摘。そのうえで「希望と活力あふれる雄県・兵庫を築くために、本政策提言で我々議員団の意図するところを十分に斟酌していただき、各種事業に反映されるよう強く求める」としています。具体的には兵庫の新時代に向けて、防災・減災、地域医療の充実、中小企業の振興、教育無償化の実現など幅広い分野にわたって政策を示し、来年度予算に盛り込まれるよう望んでいます。主な提言事項は次の通りです。



#### 最重点要望事項

##### 1.地域創生戦略の見直しと効果的な推進

地域創生戦略の見直しにあたり、特に人口増対策において目標達成できていない原因分析を徹底して行い、人口の自然増、社会増に結び付く施策の効果を適切なアウトカム指標で評価し、戦略や事業の実効性を高める斬新な取り組みを市町と連携を図りながら強化すること。また人口減少下において、より重要性の高い交流人口増対策では、特に外国人観光客を増やすため、現状の課題をデータ分析等により明確化し、兵庫らしさを活かした特色ある取り組みにより成果を上げること。

##### 2.私立高校授業料の実質無償化のさらなる拡充

本県では、これまで独自に私立高校の授業料への支援制度を創設し支援してきた、国においては令和2年度から年収590万円未満世帯の私立高校授業料の実質無償化が実現することになっているが、本県が進めてきた支援をさらに拡充し、より多くの世帯が恩恵を受けられるような新たな支援制度を創設すること。

実現しました!

##### 3.高齢ドライバーの安全運転支援装置設置の促進

高齢ドライバーによるアクセルとブレーキを踏み間違ふことが大きな原因とされている死傷事故が発生していることから、踏み間違いを防止する安全運転支援装置を高年齢ドライバーが購入する際の新たな支援制度を創設し、その設置普及を図ること。

実現しました!

最重点要望事項

3.高齢ドライバーの安全運転支援装置設置の促進

9月定例会において、井戸知事から「高齢運転者事故防止対策事業補助金」の提案がありました。  
令和元年10月23日からアクセルとブレーキの踏み間違い時の安全装置の設置に係る補助金事業を行います。

- 対象となる方
- ①兵庫県内に在住で、年度内に75歳以上となる方
  - ②自動車を運転できる有効期限内の運転免許証を保有する方
  - ③暴力団でない方

補助金額 **22,000円**  
(購入及び設置費用が22,000円以下を下回る場合は、その額(千円未満切捨て)となります。)

詳細は、兵庫県ホームページでご確認ください。

兵庫県 高齢運転者 踏み間違い 検索

全国で、東京都、福井県に次ぐ3例目です。

## 地域政策要望会

8月21・22・23日の3日間にわたり、淡路・丹波・但馬・西播磨地域で地域政策要望会を開催しました。出席した市・町長からは地域の現状や課題、要望事項などに関して説明を受けました。今回の要望を受けて、県議会公明党・県民会議として来年度の県の予算編成などに反映できるように全力での取り組みを約束しました。

また、同要望会には公明党所属の市・町議員が出席しました。主な要望事項は次の通りです。



西播磨地域 開催日:8月22日(木) / 場所:たつの市内

- 主な要望事項**
- (たつの市)
    - ・損龍南北幹線道路の整備推進について
    - ・播磨科学公園都市の建設推進等について
    - ・主要地方道本竜野停車場線道路の整備推進について
  - (宍粟市)
    - ・森林経営管理制度の円滑な実施に向けた県の代替執行について
    - ・安定的な森林経営に向けた財源確保等について
    - ・基盤整備事業の推進について
  - (太子町)
    - ・妊娠を希望する女性等に対する風しん抗体検査を実施について
    - ・幼児教育無償化に伴う町負担の軽減について
    - ・都市計画道路龍野線及び損保線東部の事業促進について

西播磨地域 開催日:8月23日(金) / 場所:赤穂市内

- 主な要望事項**
- (相生市)
    - ・相生市の基盤整備事業について
  - (赤穂市)
    - ・アクセス道路網の整備について / ・千種川水系の河川整備等について
    - ・兵庫県立赤穂海浜公園「塩の国」の再整備について
  - (上郡町)
    - ・二級河川鞍居川の河川改修事業について
    - ・県道赤穂佐伯線の道路拡幅について
    - ・土砂災害特別警戒区域指定に伴う対策について
  - (佐用町)
    - ・ひょうご地域創生交付金にかかる県予算額の拡充と制度の継続について
    - ・農業科学科を有する佐用高等学校を拠点とした包括的な地域創生について
    - ・千種川水系治水対策事業の推進について / ・道路基盤の整備推進について



## 赤羽国交相や各省庁に来年度予算編成に対する要望書を提出

9月19日、国土交通省を訪れ赤羽一嘉国土交通大臣に令和2年度予算編成等に対する要望書を提出しました。

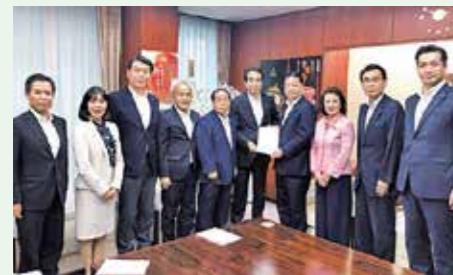


赤羽国交相を訪問した県会公明党・県民会議議員は、県の厳しい財政状況や地方が抱える諸課題を説明し、

- ① **防災・減災・国土強靱化推進のための3か年緊急対策の延長**
- ② **関西都市圏のミッシングリンクの解消**
- ③ **日本海国土軸のミッシングリンクの解消**

などを求めました。

同日、黒田武一郎総務審議官、江藤拓農林水産大臣、嶋田裕光子ども子育て本部統括官らを訪問、翌20日には稲津久厚生労働副大臣を訪れ、予算編成に対する要望・意見交換を行い、早速且つ着実な対応を求めました。文部科学省に要望書を提出しました。



◀農林水産大臣▶

- 1) AI、ICT等先端技術を活用した農業(スマート農業)の支援
- 2) 和牛精液等の国外流出対策の強化



◀内閣府特命担当大臣(少子化対策)▶

- 1) 0~2歳児保育の完全無償化の実現



◀厚生労働大臣▶

- 1) 定時巡回・随時対応サービスへの参入促進
- 2) 医療支援型グループホームの整備促進
- 3) 障害者リハビリテーション体制充実への支援

## 農政・環境常任委員会

管内調査(7月31日~8月2日/丹波・但馬地域)の一部紹介



### ◀丹波市立農の学校(平成31年4月開校)

新規就農を目指す者を対象に、市内で農業栽培技術(有機農業・特産物等)、農業経営及び農村文化を学び、実践できる研修施設を開設し、地域との強いつながりある経営のもと、多くの修了者が将来の丹波市の農業・農村の担い手となり、定住する仕組みの構築に取り組んでいます。

### ▶但馬水産技術センター

水産資源の持続的利用と安全・安心な水産物の安定供給を図るため、漁業調査船「たじま」を活用し、漁場環境、水産資源の調査研究や水産加工利用技術の開発を行っています。



管内調査(9月11日~12日/阪神地域)の一部紹介

### ◀三田市母子の茶栽培

三田市北部の標高500m~550mの山間に位置します。総戸数70戸のうち茶栽培農家数32戸。栽培面積は、約19ha。組合結成、FA(ファクトリーオートメーション)工場導入。従業員の社会保障を充実させ、後継者を育成するため、法人化し名称を「株式会社 茶香房きらめき」としました。

### ▶神戸沖埋立処分場(大阪湾フェニックス計画)

市町村域、府県域をこえて関係者が共同で利用できる廃棄物の最終処分場を確保し、圏域全体の長期的、安定的な廃棄物の処理を図っています。



管外調査(10月30日~11月1日/福島県・宮城県)の一部紹介

### ◀東西しらかわ農業協同組合(福島県白河市)

植物工場「みりよく満点やさいの家」は、天候・季節に左右されずに野菜の安全供給や、洗わずに食べられる野菜という新たな価値観の創造、また機能性成分をコントロールした野菜栽培に挑戦。JA自ら新しい農業モデルの可能性を提案することで、地域農業振興を図っています。

### ▶有限会社アグリードなるせ(宮城県東松島市)

東日本大震災後、地域の復興と発展につながる経営を目指す。自社加工の米・小麦粉でパウムクーヘンを製造。センサーやほ場管理システムによる収穫量・品質管理の向上を図っています。



### ◀ミネロファームNPO法人福島農業復興ネットワーク(福島県福島市)

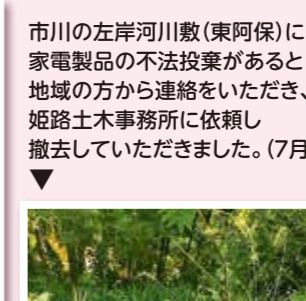
H23年の震災後、復興牧場、避難休業酪農家が法人を発足。大規模共同経営に取り組んでいます。酪農経営の他に、①共同方酪農経営モデルの実践、②被災酪農家の雇用創出、③福島県酪農の復興と生産基盤の確保、④酪農の魅力の伝導、⑤エコロジカルファームの調査、の5つの目的を掲げています。

## 日頃の活動



▲ 姫路市内中心街を流れる外堀川の清掃活動に参加しました。(5月)

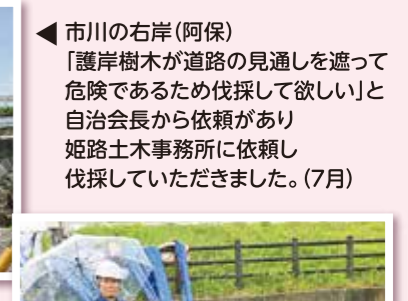
堆積土砂撤去工事が決定!



市川の左岸河川敷(東阿保)に家電製品の不法投棄があると地域の方から連絡をいただき、姫路土木事務所に依頼し撤去していただきました。(7月)



市川の右岸(阿保)「護岸樹木が道路の見通しを遮って危険であるため伐採して欲しい」と自治会長から依頼があり姫路土木事務所に依頼し伐採していただきました。(7月)



播磨川(余部区)の水害対策・見守り(8月15日:台風第10号)

